

# 地域年金展開事業【兵庫県】

令和5年2月

三宮年金事務所  
(兵庫県代表年金事務所)



**日本年金機構**

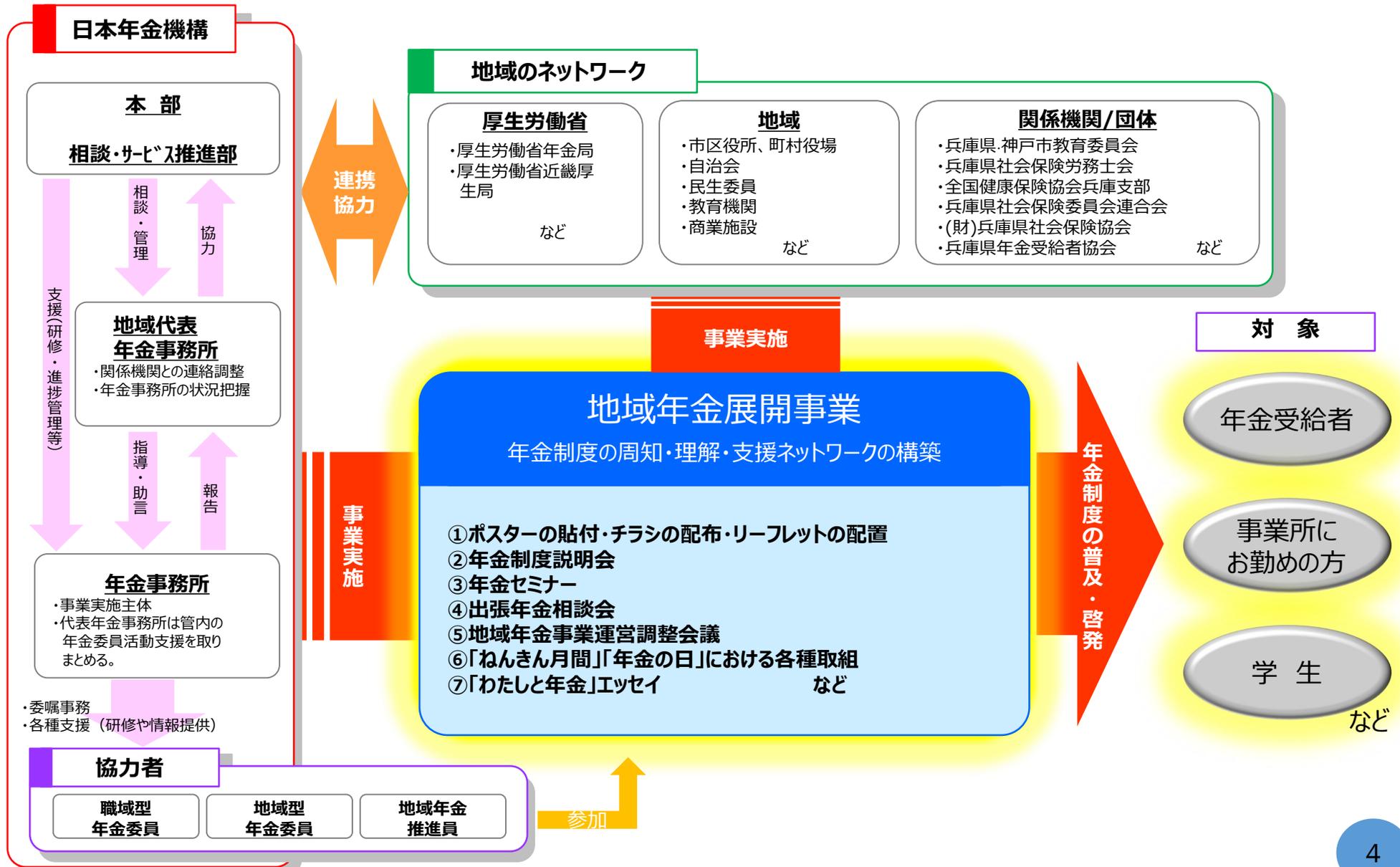
Japan Pension Service

# 目次

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 1. 地域年金展開事業の概要               | 3 ~ 5 P   |
| 2. 令和4年度事業実施中間報告（令和4年4月～11月） | 6 ~ 20 P  |
| 3. 令和5年度取組方針（案）              | 21 ~ 22 P |
| 4. 令和5年度事業計画（案）              | 23 ~ 26 P |

# 1. 地域年金展開事業の概要

# 地域年金展開事業のイメージ図



# 地域年金展開事業の主な取組

- ◆「公的年金制度の普及・啓発」などのため、関係機関との連携協力のもと実施。  
なお、日本年金機構における重点取組施策である「オンラインビジネスモデルの着実な実現」として、地域年金展開事業においても、引き続きオンラインを中心とした取組を推進している。

取組の対象	取組内容
市区町・自治会・事業所 関係機関・関係団体  7～14P	○正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の最新情報を地域において周知するための活動。  ・年金制度に関するチラシ・リーフレット等の配布 ・年金制度説明会の開催 ・出張年金相談会の開催 ・地域年金事業運営調整会議の開催 ・「ねんきん月間」・「年金の日」の取組 ・「わたしと年金」エッセイの募集
教育機関  15～18P	○学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくための活動。  ・年金セミナーの開催（オンライン・対面・DVD提供）
年金委員  19～20P	○年金委員（年金制度について広く国民へ周知するとともに、年金制度への理解と信頼を深めていただくための普及・啓発活動を行っている協力者）に対し、活動の活性化を図るための活動。  ・情報誌の発行 ・連絡会・研修の開催

## 2. 令和4年度事業実施中間報告 (令和4年4月～11月)

## ○市区町・自治会・事業所・関係機関・関係団体を対象とした取組

計画	実績	総括及び課題
<p>○年金制度に関するチラシ・リーフレット等の配布</p> <p>○年金制度説明会の実施</p>	<p>【市区町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員向け情報誌「かけはし」を配付した。（奇数月）</li> </ul> <p>【社会保険協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「社会保険ひょうご」へ記事を掲載した。（奇数月）</li> </ul> <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：計73回（597人） （主なテーマ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生年金保険等の届出の記入方法等 <ul style="list-style-type: none"> <li>※新規適用事業所を対象とした説明会は全国健康保険協会兵庫支部と共催</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【関係機関・関係団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：計75回（1,138人） （主なテーマ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請の利用促進（兵庫県社会保険労務士会）</li> <li>・新入社員向け厚生年金制度説明（全国健康保険協会兵庫支部）</li> <li>・国民年金制度説明（行政機関）</li> <li>・障害年金制度全般（特別支援学校等の保護者や教職員）</li> <li>・20歳到達者向け国民年金制度説明（一般の方）</li> <li>・ハローワークでの退職者向け制度説明（一般の方）</li> </ul> </li> </ul>	<p>【総括】</p> <p>○オンライン（マイクロソフトチームズ）による年金制度説明会を通じて、公的年金制度全般について幅広く周知することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○年金制度説明会の実施回数に加えて、参加事業所数の増加も視野に入れた事業展開が必要。</p>

計画	実績	総括及び課題
<p>○制度改正の周知</p>	<p>短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大が円滑に実施出来るよう、事業所調査時の制度周知に加えて、事業所からの依頼に基づき、専門家（社会保険労務士）を派遣し制度周知を行った。</p> <p>※令和4年10月より、短時間労働者に対する被用者保険の適用範囲が、501人以上から101人以上の事業所に拡大された。</p> <p>※兵庫県内における対象事業所数は約1,750件、社会保険労務士登録者数は25名。</p> <p><b>【令和4年度派遣事業所数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険労務士：17件</li> <li>・年金事務所職員：2件</li> </ul> <p>※派遣する社会保険労務士がない場合、管轄の年金事務所職員等が対応</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>○令和6年10月からは、51人以上の事業所へ適用拡大されることから、事業所への更なる制度周知が必要。</p>

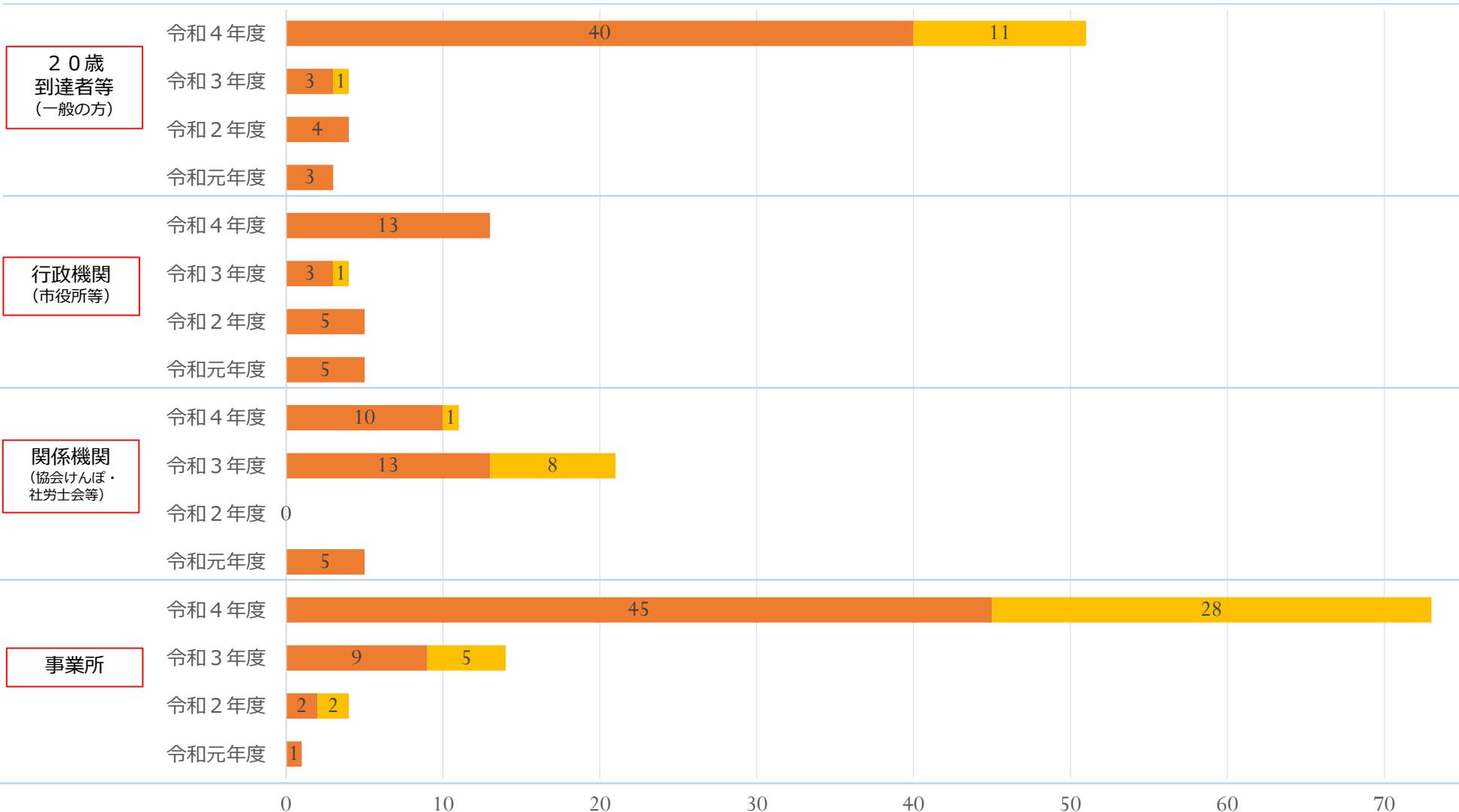
# 年金制度説明会の実施状況

		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		計	
		対面	オンライン								
20歳到達者等 (一般の方)	実施回数	40	11	3	1	4	0	3	0	50	12
	参加者	767		70		69		54		960	
行政機関 (市役所等)	実施回数	13	0	3	1	5	0	5	0	26	1
	参加者	101		53		24		132		310	
関係機関 関係団体 (協会けんぽ・ 社労士会等)	実施回数	10	1	13	8	0	0	5	0	28	9
	参加者	270		167		0		386		823	
事業所	実施回数	45	28	9	5	2	2	1	0	57	35
	参加者	597		119		100		20		836	
計	実施回数	108	40	28	15	11	2	14	0	161	57
	参加者	1,735		409		193		592		2,929	

※オンラインの中にはDVD提供も含んでいます。

# 年金制度説明会の実施状況（実施回数比較）

■ 対面 ■ オンライン



※オンラインの中にはDVD提供も含んでいます。

計画	実績	総括及び課題
○出張年金相談会 ・遠隔地の市町等に赴き年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	○県内の各市町及び商業施設において出張年金相談を実施した。今年度の実績は以下のとおり。（内訳は下表を参照。） ・令和4年度：61回実施（相談人数642人）	

《令和4年度内訳》

事務所名	姫路	尼崎	明石	西宮	豊岡	加古川	合計
実施回数	13回	9回	12回	14回	5回	8回	61回
相談人数	124人	95人	132人	173人	38人	80人	642人

計画	実績	総括及び課題
<p>○第12回兵庫県 地域年金事業運営調整会 議の開催</p>	<p>【開催日】 令和4年2月15日（火）書面開催</p> <p>【議 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度「地域年金展開事業」事業実施中間報告</li> <li>・令和4年度「地域年金展開事業」事業実施計画（案）</li> <li>・その他（オンラインによる年金セミナー・年金制度説明会等の着実な推進）</li> </ul> <p>【議事要旨】</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各議題については、各委員から書面によりご意見をいただき、事務局より一括して書面により回答</p>	<p>【総括】</p> <p>○令和3年度よりオンラインによる年金制度説明会や年金セミナーが開始され、新たなアプローチが可能となった。今後、更なるオンラインビジネスモデルの展開に向け、積極的にアプローチを行っていく。</p> <p>【課題】</p> <p>○「わたしと年金」エッセイ応募件数獲得に向け、協力依頼体制及び広報活動等を検討する。</p>

## ○「ねんきん月間」・「年金の日」の取組

### 「ねんきん月間」

日本年金機構では、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金制度に対する理解を深めていただくため、毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の周知・啓発活動を展開しています。

### 「年金の日」

国民一人一人に『ねんきんネット』等を利用して年金記録や年金受給見込み額を確認していただき、老後の生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」と制定されています。

## 取組

- ①年金セミナー
- ②年金制度説明会
- ③出張年金相談
- ④年金委員表彰
- ⑤地域型年金委員連絡会等
- ⑥明石年金事務所「ねんきん」をテーマに絵画展を開催



11月  
ねんきん月間  
です

日本年金機構は厚生労働省と協力して、  
公的年金制度の普及・啓発活動に  
取り組みます。

いいみらい  
11月30日は  
年金の日

取組内容

- 年金セミナー動画や「わたしと年金」エッセイの検索作品の展覧等、日本年金機構ホームページに「ねんきん月間」特設ページを設置します。
- 日本年金機構公式Twitterで、年金制度に関するミニ講座を実施します。
- 年金セミナーや制度説明会、出張年金相談会を実施します。

この機会に、公的年金について考えてみませんか？

国民年金は、世帯の世帯主としての世帯主だけでなく、妻、夫、未成年の子も加入できます。

国民年金保険料を納めるのが難しい場合は…  
申請することで、保険料の滞りが免除、または滞り続ける制度があります。保険料を滞りなく、滞りなく納めることで、年金を受け取ることでよりよい生活が実現します。

「ねんきんネット」は年金記録や年金受給額を確認できるサービスです！  
国民年金の加入履歴や納付状況等の記録の検索履歴をパソコンやスマートフォンから手軽に確認できます。ぜひご利用ください。

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。  
<https://www.nenkin.go.jp/> | 日本年金機構 | 検索

日本年金機構  
Japan Pension Service  
2023/11/30

## 実績

- ①県内の大学2校、高等学校2校、その他1校において計5回実施
- ②県内において計9回実施
- ③県内において出張相談所計5回実施
- ④11月16日（水）  
神戸市産業振興センターハーバーホールにて「年金委員・健康保険委員表彰式」を実施（全国健康保険協会兵庫支部・兵庫県社会保険委員会連合会と共催）
- ⑤地域型年金委員連絡会（3回）  
全国年金委員研修を各年金事務所において実施
- ⑥保育園の協力を得て、園児の絵画展を明石年金事務所内に掲示



絵画展（明石年金事務所）

## 計画

○「わたしと年金」エッセイの募集



## 実績

- 公的年金制度との関わりなど「わたしと年金」をテーマにしたエッセイについて、以下のとおり関係機関への協力依頼を行った。
  - ・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会等10カ所の関係機関・関係団体
  - ・兵庫県内の県立高等学校（170校）
  - ・神戸市内の中学校・高等学校（94校）
  - ・兵庫県内の私立高等学校（51校）
- 第52回兵庫県年金受給者協会通常総会において「わたしと年金」エッセイ募集の協力依頼を行った。
- 社会保険協会発行の広報誌に「わたしと年金」エッセイ募集の記事掲載（参考資料）を行った。
- 兵庫県教育委員会主催の会議参加や神戸市教育委員会主催の会議での資料配布等、「わたしと年金」エッセイのPRを行った。

### 【兵庫県応募実績】

	一 般	学 生	計
令和4年度	2件 (89件)	26件 (1,919件)	28件 (2,008件)
令和3年度	2件 (70件)	0件 (1,526件)	2件 (1,596件)

※括弧内は全国の実績

## 総括及び課題

### 【総括】

- 昨年度に比べ、兵庫県における応募件数は増加している。

### 【課題】

- 昨年度の実績は上回ったものの、以下の5校のみの応募に留まった。今後は、より一層早期に広報する必要がある。（応募のあった学校）
  - ・関西学院中学部
  - ・雲雀丘学園中学校
  - ・雲雀丘学園高等学校
  - ・兵庫県立三田西陵高等学校
  - ・兵庫県立阪神昆陽高等学校
- 年金セミナー開催時にエッセイの募集を徹底する。

## ○教育機関を対象とした取組

計画	実績	総括及び課題																	
<p>○年金セミナーの開催 ・前年度実績を上回る年金セミナーを実施</p>	<p>○年金セミナーの開催に向け、以下の教育機関へ協力依頼を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県教育委員会事務局</li> <li>・神戸市教育委員会事務局</li> <li>・兵庫県私学総連合会</li> </ul> <p>○兵庫県内全ての教育機関に対して、年金セミナー開催に向けた文書案内を実施した。 また、未回答の教育機関へは電話等によるフォローアップを併せて行った。 実施結果は下表のとおりで、開催校は「年金セミナー開催校一覧」（参考資料）を参照。</p> <table border="1" data-bbox="540 803 1415 1286"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">案内件数</td> <td>769件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開催校</td> <td>対面</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>オンライン (DVD提供含む)</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開催否</td> <td>402件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">検討中</td> <td>348件</td> </tr> </tbody> </table>	項 目		件 数	案内件数		769件	開催校	対面	12件	オンライン (DVD提供含む)	7件	開催否		402件	検討中		348件	<p>【総括】</p> <p>○オンラインセミナーを推進した結果、参加者数の増加につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>○オンラインセミナーを着実に実現するため、過去に年金セミナーを実施した教育機関に対しては、オンラインへの移行を前提としたアプローチを行う。</p> <p>○翌年度開催について検討中と回答のあった学校に対するフォローアップを確実に行う。</p> <p>○年金セミナーの実施回数増及び質の向上に向け、地域年金推進員の増員を図る。</p> <p>○外国人留学生への制度周知（保険料納付・学生納付特例制度等）。</p>
項 目		件 数																	
案内件数		769件																	
開催校	対面	12件																	
	オンライン (DVD提供含む)	7件																	
開催否		402件																	
検討中		348件																	

## 年金セミナーの実施状況

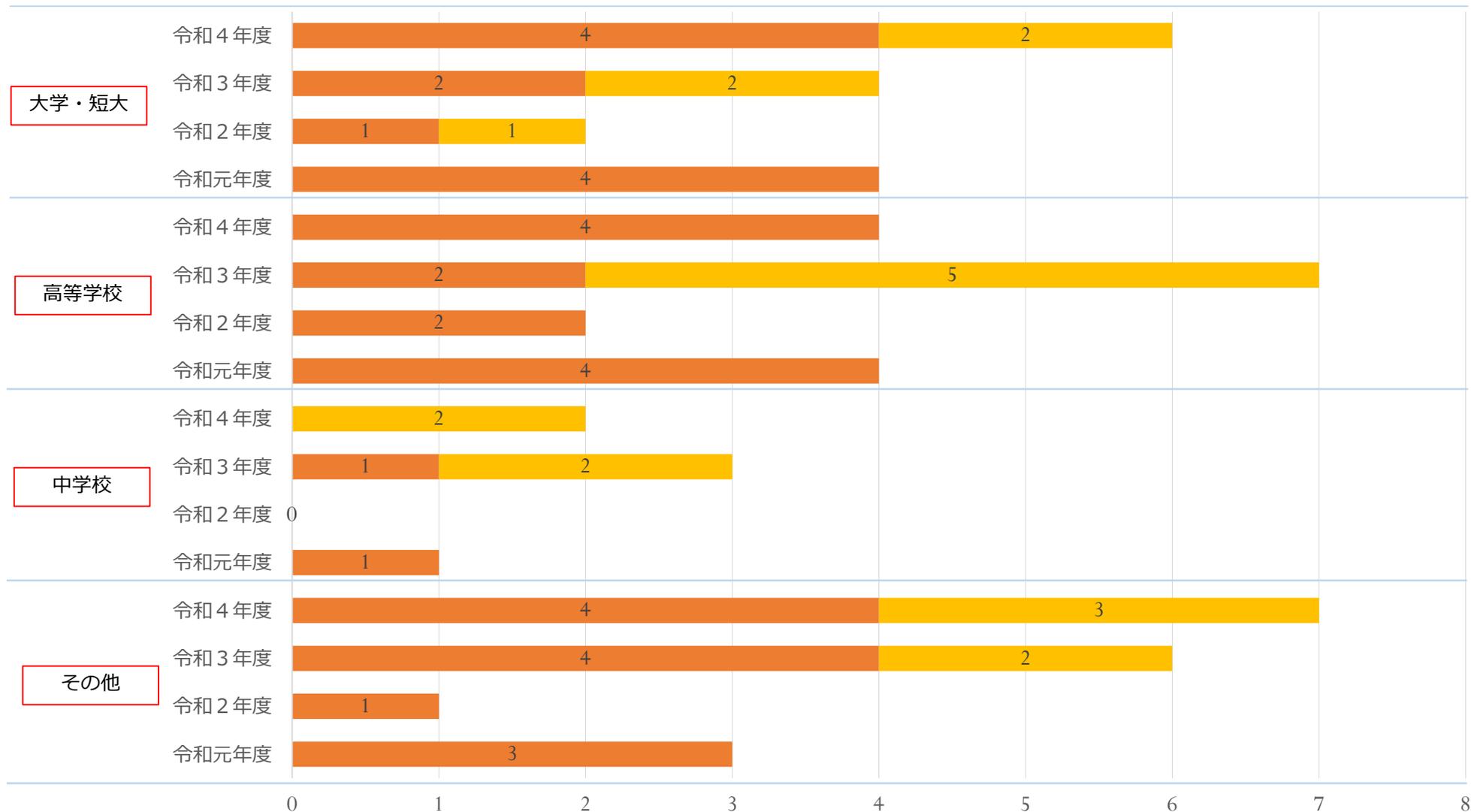
		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		計	
		対面	オンライン								
大学・短大	開催校数	4	2	2	2	1	1	4	0	11	5
	実施回数	5	13	2	3	1	1	5	0	13	17
	参加者	714		479		141		224		1,558	
高等学校	開催校数	4	0	2	5	2	0	4	0	12	5
	実施回数	10	0	2	13	4	0	8	0	24	13
	参加者	438		639		160		482		1,719	
中学校	開催校数	0	2	1	2	0	0	1	0	2	4
	実施回数	0	2	5	2	0	0	5	0	10	4
	参加者	147		439		0		133		719	
その他	開催校数	4	3	4	2	1	0	3	0	12	5
	実施回数	4	3	5	2	1	0	3	0	13	5
	参加者	366		543		12		139		1,060	
計	開催校数	12	7	9	11	4	1	12	0	37	19
	実施回数	19	18	14	20	6	1	21	0	60	39
	参加者	1,665		2,100		313		978		5,056	

※オンラインの中にはDVD提供も含まれています。

※「その他」・・・特別支援学校等

# 年金セミナーの実施状況（開催校数比較）

■ 対面      ■ オンライン

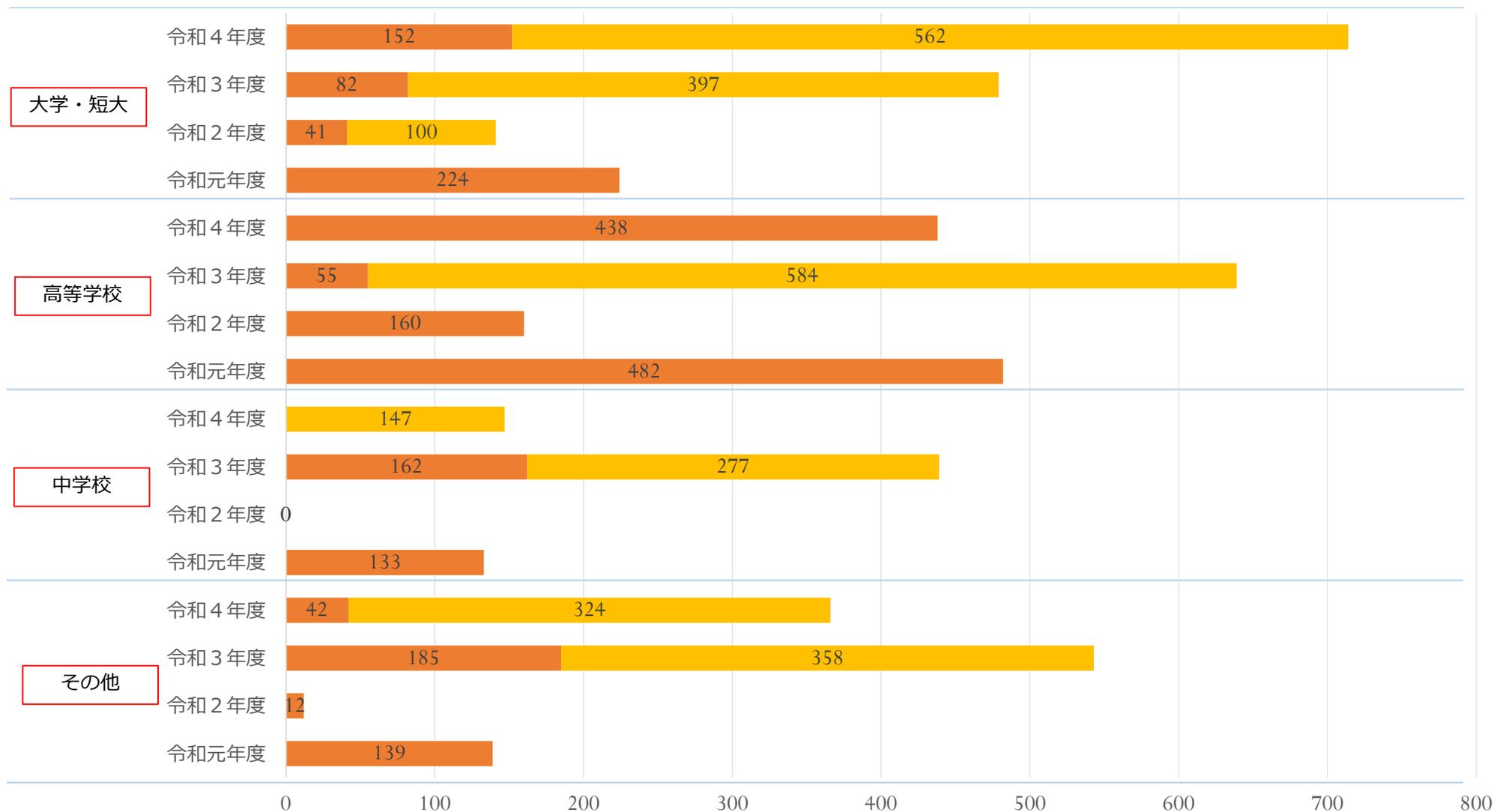


※オンラインの中にはDVD提供も含んでいます。

※「その他」・・・特別支援学校等です。

# 年金セミナーの実施状況（参加者数比較）

■ 対面 ■ オンライン



※オンラインの中にはDVD提供も含んでいます。

※「その他」・・・特別支援学校等です。

## ○年金委員を対象とした取組

計画	実績	総括及び課題
<p>○意見交換会及び研修等の実施</p> <p>○情報提供</p> <p>○委嘱数拡大に向けた取組</p>	<p>○地区連絡会における意見交換会を実施した。</p> <p>○機構本部による全国年金委員研修が開催された。研修内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねんきんネット関係、電子申請関係、国民年金制度関係など</li> </ul> <p>○日本年金機構HP掲載の「年金委員通信」（参考資料）をリニューアルした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の入り口を年金委員が設置されている事業所と、未設置の事業所に分ける等、掲載記事の構成を変えた。</li> <li>・掲載している研修資料の拡充を図った。</li> </ul> <p>○年金委員（職域型・地域型）向け情報誌「ねんきんNEWS」（参考資料）を四半期ごとに発行した。</p> <p>○【職域型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納入告知書に同封するチラシ「日本年金機構からのお知らせ」に年金委員制度周知用記事を掲載した。</li> <li>・新規適用事業所や被保険者ごとに勧奨した。</li> </ul> <p>【地域型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職域型年金委員を辞退される際に、継続して地域型年金委員として活動いただくよう委嘱案内を実施した。（研修時に周知）</li> <li>・日本郵政公社への案内</li> </ul>	<p>【課題】</p> <p>○職域型、地域型年金委員ともに委嘱数を拡大する有効な取組が必要。（特に、地域型については関係機関への取組を重視）</p> <p>○「年金委員制度」及び「年金委員の活動内容」を周知していく取組が必要。</p>

## 計画

○年金委員表彰の実施

## 実績

【開催日】令和4年11月16日（水）

【開催場所】神戸市産業振興センター ハーバーホール

【表彰内容】年金委員・健康保険委員表彰式  
(全国健康保険協会兵庫支部、兵庫県社会  
保険委員会連合会と共催・兵庫県社会保険  
協会後援)

【表彰内訳】

厚生労働大臣表彰	2名
日本年金機構理事長表彰	4名
日本年金機構理事表彰	7名



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

## 総括及び課題

【課題】

○表彰式と併せて研修会等を実施する等の検討が必要。

# 3. 令和5年度取組方針（案）

## ■ 取組方針

各事業においては、オンラインを中心とした活動を継続する。

なお、相手先機関からの要望により対面で実施する場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底する。

- オンラインによる「年金セミナー・年金制度説明会」等の着実な事業展開
- 年金委員（職域型・地域型）の委嘱数拡大及び地域型年金委員活動の活性化
- 関係機関（団体）との協力・連携体制の継続
- 県内一体となった、効果的かつ効率的な事業推進体制の維持
- 年金事務所ごとの地域性や特性にあった事業展開

## 4. 令和5年度事業計画（案）

## ○市区町・自治会・事業所・関係機関・関係団体を対象とした取組

正しい年金制度の知識や手続、制度改正等の最新情報を地域において周知することは、地域年金展開事業の重要な取組である。そのため、市区町・自治会・事業所・関係機関・関係団体に対し、あるいは、これらの機関と連携して、地域に根付いた情報提供活動や年金制度説明会等を実施する。なお、年金制度説明会はオンラインでの実施を基本とし参加事業所数の増加を図る。なお、相手先機関から要望があった場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで対面により実施する。また、動画説明の要望があった場合は、DVDの提供も行う。

### 1. チラシ・ポスター等の配布

地域住民の身近な窓口である市役所等を中心に、関係機関・関係団体の窓口にもポスターやリーフレットを設置する。

### 2. 年金制度説明会

事業所等に対して、社会保険関係届の記載・提出方法や制度改正内容等について説明を行う。

### 3. 出張年金相談会

年金事務所が主体となり遠隔地の市区町へ赴く等、年金制度全般にかかる相談・受付窓口を開設する。

### 4. 地域年金事業運営調整会議

地域年金展開事業を効果的に推進すること等を目的に設置。有識者や関係機関等から構成され、事業実績や取組方針などを報告し、効果的かつ効率的な事業運営のための意見を聴取する。

### 5. 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金制度に対する理解を深めていただくため、毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度周知・啓発活動を展開。

### 6. 「わたしと年金」エッセイの募集

年金制度の意義や公的年金制度と国民の結び付きなどについて考えていただくため、自身や家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについてエッセイを募集する。なお、応募数増加に向けては各種広報の充実を図る。

## ○教育機関を対象とした取組

学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくことは地域年金展開事業の核となる取組であるため、各種教育機関の協力をいただきながら年金セミナーを実施する。なお、年金セミナーを実施する際は、オンラインを基本とし、相手先機関から要望があった場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで対面により実施する。また、動画説明の要望があった場合は、DVDの提供も行う。

### 1. 年金セミナー

- (1) 各年金事務所は、前年度実績を上回る年金セミナーの実施に努める。また、開催にあたっては、地域年金推進員との協力連携を図る。
- (2) 既年金セミナー開催校は、継続実施かつオンラインへの移行に努めると共に、外国人留学生への制度周知についても推進する。
- (3) 先生方のご意見等をもとに、適宜教材を改訂する。
- (4) 県教育委員会、市教育委員会、県校長会及び市校長会へ協力を依頼する。
- (5) 年金事務所の管轄にとらわれず、県内で協力し安定的な運営を図る。

### 2. 大学や専門学校の窓口へのリーフレット等の設置

学生の身近な窓口である大学や専門学校の窓口にはポスターやリーフレットを設置する。

## ○年金委員を対象とした取組

年金委員は、職場・地域内外における公的年金制度の周知・啓発という重要な役割を担っていることから、委員活動の一層の活性化を図るとともに、委員活動が充実し円滑に行えるよう以下の支援を行う。

### 1. 積極的な情報提供

- (1) 啓発資料（「アニュアルレポート」「退職後の年金手続きガイド」等）を送付する。
- (2) 「年金委員活動の手引き」を送付する。
- (3) 「年金委員向け情報誌（ねんきんNEWS）」を四半期ごとに送付する。
- (4) 日本年金機構ホームページ（年金委員通信ページ）のコンテンツの充実化。

### 2. 委嘱数拡大に向けた取組

- (1) 職域型  
年金委員未設置事業所へ推薦依頼文書を送付する。
- (2) 地域型
  - ① 関係団体へ積極的に推薦依頼する。
  - ② 職域型年金委員を辞退される方に地域型年金委員の委嘱を案内する。

### 3. 地域型年金委員連絡会・地区連絡会の開催

地域型年金委員連絡会・地区連絡会の定期開催により、積極的な意見交換を行う。

### 4. 年金委員表彰

- 1 1月の「ねんきん月間」に年金委員活動功労者への表彰式等を実施する。